

学生の夢実現プロジェクト 『大学生ボランティア 教育支援隊の活動効果』

広島国際大学 ボランティアグループ
LCFプロジェクト

プロジェクトの活動目的

- 学生ボランティア「教育支援隊」として参加する学習支援活動ならびに健康教育やその他の活動を通して、呉市住民の自立支援活動に貢献しその効果をさぐる

プロジェクトの活動内容の実際

活動1（毎週土曜日）

学習支援活動

- 毎週土曜日9時30分～11時30分
学生と子どもマンツーマンによる学習支援
毎週5名の学生を学習支援現場に派遣

プロジェクトの活動内容の実際

活動2（9月28日）

子どもたちと手作りの食事を囲む会

工夫点

- 子どもたちが視覚的に楽しむかわいいカレーを手作りする。
- 食事を楽しむという点を強調した。
- 孤食を防ぐために、学生、支援のボランティア、そして支援の先生方とともに食事を囲んだ。
- 子どもを送迎していた保護者にもふるまった。
- 食中毒がおこらないよう食品の管理に細心の注意をはらった。



子どもたちと手作りの食事を囲む会の活動効果

学生33名

子どもの参加人数：25名

関係者の声

- いつも走り回って手のつけられない子どもたちも礼儀正しく食事をしていた。
- 子どもたちが楽しそうだった。
- 良い交流の場になった。

100%の子どもが
楽しかった
またやりたい

アンケートの結果から～

- あたたかくてあまくておいしかった
- 人々の形がかわいかった
- カレーがウサギでかわいかった
- 一緒に食べてもっと、おいしかった
- 食の大切さについて学ぶことができた
- なつかしい味だった

学生が感じたこと

子どもの視覚を通して子どもに食事の楽しさを捉えさせることに成功した
一緒に食べる楽しさを見出し、孤食を防ぐ食事を提供できたと思う
しかし、子どもの安全を考えるあまりに食事の提供が遅くなり、冷めてしまった。

プロジェクトの活動内容の実際

活動3（10月13日）

健康教育第1回目
災害時への備えと
その行動について



プロジェクトの活動内容の実際

活動4（11月3日）

野外活動への参加
(バスで郷原の農園へ)
農園での芋ほり・柿とり



野外活動への参加活動の効果

学生33名

子どもの参加人数：24名

100%の子どもが
楽しかった

子どもの声～

- お姉さんたちがきてくれたことで、楽しいことが増えた
- バスの中でも楽しくお話できた

学生が感じたこと

自然の中で学生が子どもと接することで、子どもの笑顔が増えていた

プロジェクトの活動内容の実際

活動5 (12月13日)

クリスマスケーキを囲む

注意点・工夫点

- ・アレルギーの子どものあらかじめ把握し、たのしめるように代替した(アレルギーショックがおきないように)
- ・アイスクリームが溶けないように細心の注意を払う



クリスマスケーキを囲む活動の効果

学生20名

子どもの参加人数：20名

関係者の声

子どもたちが笑顔で通っていた。
イチゴが大きくておいしかったです。
工夫の仕方がさすがとおもいました

100%の子どもが
楽しかった
おいしかった

アンケートの結果から～
・ケーキにポッキーがあっとうれしかった
・パフェみたいだった
・また、食べたい
・イチゴが嫌いだったけど食べられた

学生が感じたこと

季節の行事クリスマスを感じてもらうことができたいと思ってケーキを作った。子どもの笑顔が本当に素敵で、楽しんでいることが感じられた。終了後も子どもがなかなか学生から離れなかった。食育というよりも行事を楽しむということが目的だったが、子どもの笑顔からその効果を実感した。

プロジェクトの活動内容の実際

活動6 (1月28日)

・健康教育第2回目

感染症を防ぐ

～正しい手洗いの方法～



感染症を防ぐ～正しい手洗いの方法～活動の効果

学生20名

子どもの参加人数：15名

子どもの声

・手を洗っても汚いの？
・手をあらってもこんなにおいばい菌が残っているの？
・手洗いでいいよね～
・家でも手洗いをきちんとする

学生が感じたこと

手洗いイェッカーという機器を通して完全な手洗いができていないことを子どもが体験した。子どもは、実体験を通して感染予防としての手洗いを実感でき、真剣に取り組んでいた。手洗い方法を学ぶ十分な教育的効果があったと思う。

全体的活動の効果(子どもの声を聞いて)

学生の活動を通して子どもたちにとって何がよかったか

～子どもたちの声～

子ども1(小学生)

お姉さんたちがきてくれたことで、今までになかった**体験**が増えた。たとえば、手洗いのばい菌を実際に目で見て、家でも手洗いをきちんとするようになった。お姉さんたちがきてくれるから来年も参加したい。

子ども2(小学生)

お姉さんたちがきてくれることで、土曜日がまちどおしくなった。土曜日に**勉強**することが**苦痛**でなくなった。**4月から絶対来たい。**

全体的活動の効果(子どもの声を聞いて)

学生の活動を通して子どもたちにとって何がよかったか

～子どもたちの声～

子ども3(中学1年生)

小さい子どもたちは、いつも帰り際にお姉さんたちとこんなことを話したと私にしゃべってくれていた、小さな子も楽しそうだったし、**笑顔**が増えていた。

私は今まで自分の進路について考えたことがなかったけど、お姉さんたちと話をして**大学**にいきたいと思うようになった。**自分の進路**を医療系にしたいと思って**勉強**をするようになった。

まとめ1

学生の夢実現プロジェクト

『大学生ボランティア教育支援隊の活動効果』

1. 学生の活動は、子どもの学習支援への参加の動機付けになっていた。
2. 学生の活動は、子どもが学んだことを日常生活に取り入れる機会をつくっていた。
3. 学生の活動は、子どもの『場』の保証としての役割を担っていた。
4. 学生の活動は、子どもが自分の進路を考える上で重要な役割を担っていた。
5. 学生の活動は、呉市の自立支援が必要な家庭の子どもに笑顔を増やしていた。

まとめ2

私たちの活動は、呉市の子どもたちに
未来の『希望』をあたえていたのではないのか

私たちの活動は、呉市の地域活性化にすぐに影響を及ぼすものではないかもしれない。しかし、学生が示した活動は『子どもが生きやすい街づくり』を目指すものである。呉市地域の活性化には、『子どもの力』『子どもの笑顔』が重要である。決して派手ではないが、このような地道な活動こそ地域の活性化には必要である。私たち学生はこのような活動を自治体、そして地域一丸となって取り組むことを希望する。